

緒方委員（自民議連）

令和3年3月9日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）生涯にわたって学び続ける環境づくりについて

現在、「学びの変革」として学校教育が大きく変わろうとしていることは実感しているが、大切なことは、生涯にわたって学び続けるため、いつでも、どこでも、誰でも学べる環境づくりに、教育委員会として、関係部局と手を携えて取り組んでいくことではないか。

そこで、改めて、先日再任された教育長にそうした観点について、どう考えるか伺う。

（答）

生涯学習は、社会教育や家庭教育、学校教育などにより、生涯にわたり学び続け、自己の能力と可能性を最大限に高め、様々な人々と協働・協調しつつ、自己実現と社会貢献を図るために行うものであり、重要なものと認識しております。

このため、「教育に関する大綱」において「生涯にわたって主体的に学び続けるための環境づくり」を施策の柱の1つとして位置付け、学習機会の充実や地域の学びを支える人材の育成に取り組んでいるところでございます。

具体的には、

- ・ 県立大学などと連携した社会人向けの講座の実施
- ・ 関係部局と連携した県立図書館におけるビジネス関連書籍の特設展示
- ・ コロナ禍において来館の難しい社会人等にも対応した電子書籍の提供
- ・ 地域の学びを支える公民館職員等の人材の育成
- ・ 県内の大学、自治体、NPOなど、多様な主体が実施する様々な講座・講演会等についての情報の提供

などを実施しております。

教育委員会といたしましては、引き続き、こうした取組を行うとともに、人生100年時代を見据えた社会人等の学び直しやリカレント教育につきましても、関係部局や庁外の関係機関等との連携・協働を更に進め、生涯にわたって学び続けることができるよう、生涯学習の振興にしっかりと取り組んでまいります。